

日程表 1

第1会場 (2階 さくら)		第2会場 (2階小ホール)	
8:15	受付開始		
8:50	開会式		
9:00	シンポジウム I タスクシフトに挑む 座長：越智 文雄、山崎 芳郎 演者：藤田 秀樹 山内 一浩 萱島 道徳 早田 千容	9:00	ライフクオリティーメイクアップセミナー 演者：瀬村 留美 〔共催：資生堂ジャパン株式会社〕
		9:40	共催セミナー 演者：奥田 忠弘 〔共催：アボットジャパン合同会社〕
10:40	特別講演 I ミッション：原点に戻る 座長：堀 正二 演者：岩田 松雄	10:40	一般演題 A1 地域連携 (1) A1-1～4 座長：西谷内由美
		11:08	一般演題 A2 地域連携 (2) A2-1～5 座長：安原 真人
11:55	ランチョンセミナー I 座長：笠山 宗正 地域で取り組む認知症治療 ～求められる多職種連携の形～ 演者：竹屋 泰 〔共催：興和株式会社〕	11:55	ランチョンセミナー II 座長：東田 有智 次なる新興感染症危機にいかに対応するか ～平時の医療との両立を目指す医療マネジメント～ 演者：倭 正也 〔共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社〕
13:00	特別講演 II 地方創生の取り組みと万博について 座長：山下 静也 演者：自見はなこ	12:55	一般演題 A3 地域連携 (3) A3-1～5 座長：西野万寿子
		13:30	一般演題 A4 地域連携 (4) A4-1～5 座長：弘川 摩子
14:10	ミニレクチャー 地域の病院経営環境変化・診療報酬改定を踏まえ、 働き手の確保と医療充実の取り組みを考える 座長：山根 哲郎 演者：渡辺 優	14:10	スポンサードシンポジウム 座長：中尾 彰太 マンパワー減少時代の安全なモニタリングについて 考える 演者：恵川 淳二 〔共催：日本光電工業株式会社〕
14:40	教育講演 実地高齢者医療におけるフレイル・サルコペニアの意義 座長：田村 茂行 演者：杉本 研		
15:30	パネルディスカッション 特定看護師を効果的に活用する戦略と実践 座長：今本 治彦、亀山 雅男 演者：阿部 智子 田口 千里 上野 智美 稲井久美子	15:30	シンポジウム II 座長：久保山一敏、松岡 哲也 病院救命士に期待される役割—その教育と活用 基調講演：久保山一敏 演者：櫻元 允良 西村 勇樹 平田 誠 山口 裕子 鍛冶 有登
17:00	若手優秀演題 (YIA) 授賞式・閉会式		

日程表 2

第3会場 (2階会議室A・B)		第4会場 (2階会議室C・D)		第5会場 (3階銀杏)		予備会場 (3階会議室1)	
9:00	一般演題 B1 医療安全 (1) B1-1～6 座長: 岩橋 博見	9:00	一般演題 C1 栄養・感染症 C1-1～6 座長: 倭 正也	9:00	若手優秀演題 (YIA) YIA-1～10 座長: 上田 祐二 烏野 隆博		
9:48	一般演題 B2 医療安全 (2) B2-1～6 座長: 河瀬 留美	9:48	一般演題 C2 薬物療法 C2-1～6 座長: 深津 祥央				
10:40	一般演題 B3 人材育成・職員教育 (1) B3-1～4 座長: 前原 陽子	10:40	一般演題 C3 医療経済 (1) C3-1～4 座長: 奥野 哲也	10:40	一般演題 D1 医療情報 (1) D1-1～4 座長: 中前 光弘		
11:08	一般演題 B4 人材育成・職員教育 (2) B4-1～5 座長: 村井 正美	11:08	一般演題 C4 リハビリテーション・ 災害医療 C4-1～5 座長: 大内 美穂	11:08	一般演題 D2 タスク・シフト/シェア (1) D2-1～5 座長: 有働みどり		
11:55	ランチョンセミナーⅢ 座長: 山下 静也 電子カルテ・バイタル連 携システムのさまざま な運用、取り組み 演者: 橋口 絹代 池村 真美 〔共催: テルモ株式会社〕	11:55	ランチョンセミナーⅣ 座長: 藤見 聡 究極の初療室を目指して ～ハイブリッド ER の広が り Abierto Cockpit for ER の開発～ 演者: 丸山 修平 〔共催: キヤノンメディカ ルシステムズ株式会社〕	11:55	ランチョンセミナーⅤ 座長: 道明 雅代 中規模病院における COVID-19対応 (医療関連感 染対策) の実践～限られた人 員でいかに新興感染症パン デミックに立ち向かったか～ 演者: 勝田 誠 〔共催: 塩野義製薬株式会社〕		
12:55	一般演題 B5 人材育成・職員教育 (3) B5-1～5 座長: 西出あや子	12:55	一般演題 C5 多職種連携 (1) C5-1～5 座長: 阿部 智子	12:55	一般演題 D3 タスク・シフト/シェア (2) D3-1～5 座長: 中筋 知美	13:15	ライフクオリティ・メイクアップ 実践講習会 〔共催: 資生堂ジャパン株式会社〕 第一部
13:30	一般演題 B6 医療安全 (3) B6-1～6 座長: 山田 智子	13:30	一般演題 C6 多職種連携 (2) C6-1～6 座長: 崎田佐百合	13:30	一般演題 D4 医療情報 (2) D4-1～6 座長: 平松 昌典	14:15	
14:30	スイーツセミナーⅠ 座長: 船津 俊宏 病院が生き残るために、 今私たちが出来る事 ～ニプロ HNLIN 導入か ら学んだ今後の医療経営 のポイント～ 演者: 渡邊 伸作 〔共催: ニプロ株式会社〕	14:30	一般演題 C7 タスク・シフト/シェア (3) C7-1～3 座長: 種村 匡弘	14:30	スイーツセミナーⅡ 座長: 大西 俊成 日本人における魚の摂 取量と動脈硬化の関係 ～医療関係者こそ魚を 食べよう! 演者: 増田 大作 〔共催: 持田製薬株式会社〕	14:30	第二部
15:30	一般演題 B7 人材育成・職員教育 (4) B7-1～6 座長: 井出由起子	15:30	一般演題 C8 医療経済 (2) C8-1～6 座長: 山村 達雄	15:30	一般演題 D5 患者サービス (1) D5-1～6 座長: 澤田 恵美	15:45	第三部
16:12	一般演題 B8 人材育成・職員教育 (5)・ クリティカルパス B8-1～6 座長: 青木 真理	16:12	一般演題 C9 医療経済 (3) C9-1～6 座長: 松下 庄一	16:12	一般演題 D6 患者サービス (2) D6-1～6 座長: 松永 真実	16:45	

プログラム（会場別）

8：15～ 受付開始

第1会場（2階さくら）

8：50～8：55 開会式（学術集会 会長挨拶）

山下 静也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事長）

9：00～10：30 シンポジウム I

座長 越智 文雄（社会医療法人 愛仁会 リハビリテーション病院 院長）

山崎 芳郎（独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 名誉院長）

タスクシフトに挑む

診療放射線技師のスキルを活かすタスク・シフト／シェア最前線

藤田 秀樹（社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会中津病院
放射線治療技術部 部長）

臨床検査技師の病棟業務の試み

山内 一浩（市立豊中病院 臨床検査部 部長）

臨床工学技士におけるタスク・シフト／シェアの告示研修の現状と課題

萱島 道德（東亜大学 医療学部 医療工学科 特任教授）

薬剤業務領域におけるタスク・シフト／シェア

早田 千容（京都大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師）

10：40～11：20 特別講演 I

座長 堀 正二（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 名誉総長）

ミッション：原点に戻る

岩田 松雄（株式会社リーダーシップコンサルティング 代表取締役）

11：55～12：45 ランチョンセミナー I

座長 笠山 宗正（公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 名誉院長、特別顧問）

地域で取り組む認知症治療～求められる多職種連携の形～

竹屋 泰（大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 老年看護学教室 教授）
共催：興和株式会社

13：00～14：00 特別講演 II

座長 山下 静也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事長）

地方創生の取り組みと万博について

自見はなこ（参議院議員・医師）

14:10～14:40 ミニレクチャー

座長 山根 哲郎（パナソニック健康保険組合 松下記念病院 名誉院長）

地域の病院経営環境変化・診療報酬改定を踏まえ、働き手の確保と医療充実の取り組みを考える
渡辺 優（株式会社メディチュア 代表取締役社長）

14:40～15:20 教育講演

座長 田村 茂行（八尾市立病院 総長）

実地高齢者医療におけるフレイル・サルコペニアの意義
杉本 研（川崎医科大学 総合老年医学 主任教授）

15:30～17:00 パネルディスカッション

座長 今本 治彦（市立貝塚病院 外科 名誉院長・顧問 入退院支援センター長、包括医療推進室長・健康管理室長）
亀山 雅男（社会医療法人 生長会 理事長）

特定看護師を効果的に活用する戦略と実践

特定看護師 草の根作戦（R5version）
阿部 智子（地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 看護局 看護局長）

特定行為研修修了者の活用推進に向けた体制構築における課題
田口 千里（公益財団法人 天理よろづ相談所 天理よろづ相談所病院 看護部 副看護部長）

高度急性期病院における特定行為看護師の支援体制の構築
上野 智美（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局
副看護局長 兼 急性期ケア推進室長）

特定行為研修修了看護師の複数配置による組織的活用に向けた取り組み
稲井久美子（関西医科大学附属病院 看護部 看護副部長）

17:10～17:15 若手優秀演題（YIA）授賞式・閉会式

第2会場（2階小ホール）

9：00～9：35 ライフクオリティーマイクアップセミナー

資生堂ライフクオリティーマイクアップ～化粧のちからで”自分らしく”いられる毎日～

瀬村 留美（資生堂ジャパン株式会社 美容戦略部）

共催：資生堂ジャパン株式会社

9：40～10：30 共催セミナー

検体検査データの自動解析システムによるチーム医療・診断エクセレンスへの貢献

奥田 忠弘（アボットジャパン合同会社 診断薬・機器事業部

デジタルヘルスソリューションズ）

共催：アボットジャパン合同会社

10：40～11：08 一般演題 A1

座長 西谷内由美（西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 看護部長）

地域連携（1）

A1-1 2040年を見据えた地域での健康づくり―「まちの保健室」の活動報告―

公益社団法人 大阪府看護協会 地域包括ケア事業部 中田 淳子

A1-2 A地域における高齢心不全患者の地域連携支援システムの構築

～病状・病期に対応した療養場所の選定と多職種連携～

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 壽慶奈津子

A1-3 当院における継続看護への取り組み

国家公務員共済組合連合会 大手前病院 外来 上村 佳代

A1-4 外来がん指導研究会の取り組みと今後の課題

西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 薬剤部 梅谷 亮介

11:08～11:43 一般演題 A2

座長 安原 真人（パナソニック健康保険組合 松下記念病院患者支援連携センター 副センター長）

地域連携（2）

A2-1 面会制限下による病棟看護師の在宅酸素療法指導に向けた実態調査

社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 看護部 下釜 璃沙

A2-2 小児二次救急病院における夜間診療体制の実態～看護師による電話相談の開始～

社会医療法人 真美会 大阪旭こども病院 看護部 守永 美希

A2-3 乳がん治療中に1型糖尿病を発症した後期高齢者と家族の意思決定支援

—分野の異なる認定看護師協働の1例—

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 西村 直美

A2-4 退院支援看護師のサポート体制の充実に向けた取り組み

地方独立行政法人 大阪府病院機構 大阪国際がんセンター 8階さくら病棟 藤田 明子

A2-5 ロボット支援下前立腺全摘除術を受けた患者の包括的排尿ケアに向けての外来・病棟連携システムの構築

地方独立行政法人 大阪府病院機構 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 池田真理子

11:55～12:45 ランチョンセミナーⅡ

座長 東田 有智（近畿大学病院 病院長）

次なる新興感染症危機にいかに対応するか～平時の医療との両立を目指す医療マネジメント～

倭 正也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 感染症センター センター長）

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

12:55～13:30 一般演題 A3

座長 西野万寿子（市立貝塚病院 副院長 兼 看護局長）

地域連携（3）

- A3-1 医療安全管理者は孤独じゃない！
—「支部医療安全交流会」を通じた顔の見えるネットワークづくりに取り組んで—
公益社団法人 大阪府看護協会 労働環境支援事業部 落合 直子
- A3-2 意思疎通が困難な事例における成年後見制度の活用に関する課題と今後の対策
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 患者サポートセンター 藤田 智
- A3-3 パンフレットを活用した家族へのせん妄の周知と教育
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 認知症ケアセンター 松藤 香織
- A3-4 緩和的放射線治療のホットライン開設の取り組み
市立貝塚病院 看護局 納谷理恵子
- A3-5 入退院支援部門での短期体験研修の効果と課題
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 患者サポートセンター 竹島圭奈恵

13:30～14:05 一般演題 A4

座長 弘川 摩子（公益社団法人 大阪府看護協会 会長）

地域連携（4）

- A4-1 在宅療養を希望した80代男性の看取りを支えた家族看護を振り返る
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 訪問看護室 村上由香理
- A4-2 病院薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施の課題
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 薬剤部 田口 英輝
- A4-3 持続皮下注施行の患者を受け入れる保険薬局での在宅マネジメント
一般社団法人 大阪ファルマプラン 宇都宮励子
- A4-4 南泉州地域における転院調整業務のDX化の一助となった取り組み紹介
～入退院支援クラウド CAREBOOK の運用～
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 医療福祉相談室 田口 裕也
- A4-5 退院支援ナビシステム導入後の多職種・退院支援カンファレンスの取り組み
社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 入退院支援センター 川野 洋子

14:10～15:20 スポンサーシンポジウム

座長 中尾 彰太（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター・泉州救命救急センター長）

マンパワー減少時代の安全なモニタリングについて考える

恵川 淳二（奈良県立医科大学 集中治療部 病院教授）

共催：日本光電工業株式会社

15:30～17:00 シンポジウムⅡ

座長 久保山一敏（京都橘大学 健康科学部 救急救命学科 教授）

松岡 哲也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 副理事長・病院長）

病院救命士に期待される役割—その教育と活用

基調講演

ER チーム医療の新しい担い手：病院救急救命士制度の概要とその展望

久保山一敏（京都橘大学 健康科学部 救急救命学科 教授）

当院における病院救急救命士教育システムの構築～病院救命士のチーム参画にむけて～

樫元 允良（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

大阪府泉州救命救急センター 5階海側病棟）

院内救命士による医師業務タスクシフトへの取り組み

西村 勇輝（社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター）

二次救急病院における救急救命士の可能性

平田 誠（社会医療法人 純幸会 関西メディカル病院 ERセンター、

社会医療法人 純幸会 関西メディカル病院 EMT科 統括主任）

病院救急救命士の院内業務拡大への取り組み

山口 裕子（医療法人医誠会 医誠会国際総合病院 救急搬送対策室）

”救命の連鎖”をどこで繋げるか

鍛冶 有登（医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院 救命救急センター センター長）

第3会場（2階会議室A・B）

9：00～9：42 一般演題 B1

座長 岩橋 博見（市立豊中病院 病院長）

医療安全（1）

- B1-1 レジリエンス・エンジニアリングの視点を用いた転倒転落事故予防への看護管理者の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 7階海側病棟 下田美由紀
- B1-2 整形外科病棟における高齢者の転倒・転落予防に関する環境整備の効果
社会医療法人 警和会 大阪警察病院 看護部 音田 玲奈
- B1-3 化学療法を受ける患者の転倒転落インシデント減少に対する取り組み
地方独立行政法人 大阪府病院機構 大阪国際がんセンター 看護部 大石 亜紀
- B1-4 放射線画像読影所見の見落としによるインシデント防止のための医療安全管理室における取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療安全管理室 中村 英嗣
- B1-5 放射線画像読影所見の見落としによるインシデント防止のための取り組み
（放射線センターにおける活動を中心に）
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局放射線部門 池本 達彦
- B1-6 医師からのインシデントレポートの報告率を高めることで、研修医の指導教育の在り方に活かす
市立豊中病院 医療安全管理室 中上 紀子

9：48～10：30 一般演題 B2

座長 河瀬 留美（公益社団法人 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 医療安全管理室 専従医療安全管理者）

医療安全（2）

- B2-1 当院リハビリテーション室における医療安全文化の醸成について
インシデント報告から見えてきた傾向と取り組みより
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 リハビリテーション室 志賀 康彦
- B2-2 CT画像を利用した新しい造影剤選定方法の試み（体重不明の場合）
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局 放射線部門 藤村 一郎
- B2-3 患者皮膚吸収線量と医療安全管理室の関わり
医療法人橘会 東住吉森本病院 医療安全管理室 石津真由美
- B2-4 集中治療領域における薬剤師不在時間帯の薬物療法の実態に関する調査
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 小林 洋平
- B2-5 当院における組織固定用ホルマリンの管理体制について
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局 検査・栄養部門 病理検査 中井 信子
- B2-6 MRI検査における急変時対応の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療支援局 放射線部門 小東 亮介

10:40～11:08 一般演題 B3

座長 前原 陽子（社会医療法人 生長会 法人本部事務局 看護部，ベルランド総合病院 法人本部事務局 看護統括部長，ベルランド総合病院 看護部長兼務）

人材育成・職員教育（1）

- B3-1 ダヴィンチ導入を機会としたスタッフの自律性を向上させる看護管理者の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 中央手術室 南 昌子
- B3-2 看護師長がいきいきと活躍できる組織作りを目指したタスクマネジメントに対する
小集団活動と今後の課題
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局・看護管理室 西出あや子
- B3-3 小児専門病院における付き添いのない患者・家族への退院指導の在り方
—担当看護師としての役割と責任—
社会医療法人 真美会 大阪旭こども病院 看護部 中村 光希
- B3-4 看護師長チームによる段階的 DiNQL 導入と活用に向けた取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 真鍋 和子

11:08～11:43 一般演題 B4

座長 村井 正美（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 看護管理室 看護部長）

人材育成・職員教育（2）

- B4-1 産前産後・育児休業を取得した看護職員が組織に適応するための看護部の課題
独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター 看護部 東原沙由理
- B4-2 看護補助者が「働きがい」をもって活躍するための職場環境の整備
～副看護師長で構成した看護補助者人材育成チームの取り組み～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 竹口 久実
- B4-3 臨床看護師の研究活動を推進するための看護研究委員会の取り組み
—看護研究をもっと身近に、もっと楽しく—
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護研究委員会 明全 潤子
- B4-4 救急集中治療エリアにおけるペア制看護方式の導入
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 救命ICU 射手矢奈津子
- B4-5 心臓カテーテル検査時の個別的看護実践の取り組みによる自立した看護師の育成
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 救急外来 吉田 恵子

11:55～12:45 ランチョンセミナーⅢ

座長 山下 静也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 理事長）

電子カルテバイタル連携システムのさまざまな運用、取り組み

自施設における電子カルテ通信機能付きバイタルサイン測定機器の導入から10年の経緯

橋口 絹代（社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会野江病院 看護管理室）

バイタルサイン連携機器 HR ジョイント使用率上昇への取り組み

～モバイル端末でのHR ジョイントの使用も試みて～

池村 真美（地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立十三市民病院 看護部）

共催：テルモ株式会社

12:55～13:30 一般演題 B5

座長 西出あや子（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護管理室 副看護局長 兼 教育責任者）

人材育成・職員教育（3）

B5-1 看護副師長の経験学習ノートを用いたマネジメントリフレクションの取り組み

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 眞柴美登理

B5-2 認知症・せん妄ケア委員会でリンクナースが運営した事例検討会の成果と課題

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 小城 千絵

B5-3 新人看護師を切れ目なく支援できる新人教育体制の整備

～効果的にプリセプターチーム力を発揮させ、新人看護師の離職を防ぐ～

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 前田 幸子

B5-4 看護補助者の業務範囲の見直しと適正配置によるタスク・シフト

関西医科大学総合医療センター 看護部 谷田由紀子

B5-5 認定看護師協働による教育の質向上 ～領域連携による相互支援～

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 E-ICU 松嶋 寿和

13:30～14:12 一般演題 B6

座長 山田 智子（八尾市立病院 看護局 看護局長）

医療安全（3）

- B6-1 当院における同意書のスキャン取り込みにおける安全運用と効率化に向けて
公益財団法人 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 情報管理課 園部 暁子
- B6-2 大規模および集団接種会場におけるコロナワクチンマネジャーの意義についての考察
公益社団法人 大阪府看護協会 労働環境支援事業部 落合 直子
- B6-3 当院におけるパニック値の解析
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 検査・栄養部門 鎌谷真紗子
- B6-4 危険予知トレーニングの実施
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 看護部 田中 庸治
- B6-5 小児患者に対するアセトアミノフェン静注液投与量の上限定
社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 薬剤部 石田 茂伸
- B6-6 CCST 活動におけるシームレスな連携 ～状態悪化から意思決定支援まで～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 急性期ケア推進室 山田 友子

14:30～15:20 スイーツセミナー I

座長 船津 俊宏（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 心臓センター長 兼 心臓血管外科主任部長）

病院が生き残るために、今私たちが出来る事

～ニプロ HNLIN 導入から学んだ今後の医療経営のポイント～

渡邊 伸作（社会医療法人 鴻仁会 岡山中央病院 経営企画室）

共催：ニプロ株式会社

15:30～16:12 一般演題 B7

座長 井出由起子（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 副病院長兼看護局長）

人材育成・職員教育（4）

- B7-1 卒後臨床研修評価機構受審に向けての取り組み
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 臨床研修支援部 足立 知香
- B7-2 1on1 を活用したタレントマネジメント手法の試み
社会医療法人 生長会 府中病院 臨床工学室 千川 浩明
- B7-3 当院におけるカテーテルアブレーション業務の新規導入とスタッフ育成について
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門 吉田 光海
- B7-4 診療放射線技師の新人教育に関するマニュアル整備
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 放射線室 木下 大希
- B7-5 当院における薬学実務実習の評価と今後の課題：薬学実務実習生からのアンケート調査より
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 北庄司敦久
- B7-6 医療秘書養成学科学生が取り組む病院実習におけるルーブリック評価の導入について
関西女子短期大学 医療秘書学科 山本まりこ

16:12～16:54 一般演題 B8

座長 青木 真理（近畿大学病院 看護部長）

人材育成・職員教育（5）・クリティカルパス

- B8-1 病院事務職に求められる能力とその育成方策 —人材育成プログラムの基盤づくり—
広島国際大学 健康科学部 医療経営学科 奥間さくら
- B8-2 医師事務作業補助の実践力向上に向けた短期大学の取り組み —実務者との連携の重要性—
四條畷学園短期大学 ライフデザイン総合学科 伊東めぐみ
- B8-3 臨床研究を推進するための研究支援チームの発足とその効果
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局リハビリテーション部門 田中 涼
- B8-4 理学療法士養成校学生の予期的社会化指標の尺度項目の内容妥当性の検討
地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション技術科,
国際医療福祉大学大学院 医療福祉教育・管理分野 松川 訓久
- B8-5 糖尿病療養指導士へのコンサルテーション機能の構築
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 看護部 金星 正美
- B8-6 核医学検査を含めたクリティカルパスの作成 —急性心筋梗塞—
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 放射線室 泉 陽美

第4会場（2階会議室C・D）

9：00～9：42 一般演題 C1

座長 倭 正也（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 感染症センター センター長）

栄養・感染症

- C1-1 回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士のスキルアップ
～施設をこえた連携による課題解決～
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 診療技術部 栄養管理室 横田 暁子
- C1-2 外来化学療法室における管理栄養士の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 検査栄養部門 栄養管理 林 美幸
- C1-3 当院における胃・食道がん周術期患者への運動・栄養サポートの概要と管理栄養士の関わりについて
市立豊中病院 中央診療局 栄養管理部 井上 文子
- C1-4 わが国の感染症危機管理体制構築のための一類感染症等集中治療アドバンスワークショップ研修会
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 院内感染対策室 山内 真澄
- C1-5 新型コロナウイルス感染症対策のこれから
公益社団法人 益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院 感染対策室 岩崎 良子
- C1-6 社会福祉施設等への感染症予防対策強化のための訪問事業報告
—感染管理の専門家による感染症予防のための支援活動—
公益社団法人 大阪府看護協会 政策・企画・看護開発部 柴谷 涼子

9：48～10：30 一般演題 C2

座長 深津 祥央（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 薬剤部門長）

薬物療法

- C2-1 COVID-19 流行下における薬剤部門の役割 ～4年前から現在までの対応の変遷～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 泉原 里絵
- C2-2 当院における糖尿病教育入院患者へのシックデイに対する取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 伊藤 健二
- C2-3 周術期中止薬に対する当院での薬剤師の関わり
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 上田 祥子
- C2-4 救急救命センターにおける薬剤師主導の抗微生物薬の用法用量に関するプロトコルの作成と評価
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 長谷川 翔
- C2-5 がん薬物治療におけるレジメン登録と医療安全
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 中川 直樹
- C2-6 当院における免疫関連有害事象（irAE）対策
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 西井 拓人

10:40～11:08 一般演題 C3

座長 奥野 哲也（市立貝塚病院 事務局長）

医療経済（1）

- C3-1 最近 10 年間における当院の診療体制の変遷と実績
公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 笠山 宗正
- C3-2 緊急入院受け入れ増加に向けた体制の構築
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 看護部 藤嶋久美子
- C3-3 大阪鉄道病院の DPC 機能評価係数Ⅱに対する取り組み
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 企画課 医事科・診療録管理室 上林 和之
- C3-4 診療単価向上施策～手術室成長戦略の展開～
社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 企画室 六浦 亮人

11:08～11:43 一般演題 C4

座長 大内 美穂（社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 副看護部長）

リハビリテーション・災害医療

- C4-1 廃用症候群の診断名でリハビリテーション開始となった入院患者に対して、
Inbody 測定を導入する試みと今後の課題について
公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 リハビリテーション室 新井 聖章
- C4-2 THA 術後 3 ヶ月時の Forgotten Joint Score-12 (FJS) に影響を与える因子の検討
～ FJS 高値群と低値群の 2 群間比較より～
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 リハビリテーション科 吉川 琢磨
- C4-3 大規模災害に備えた保健医療体制構築について 一関係機関との情報共有方法と役割分担一
大阪府泉佐野保健所 企画調整課 香月亜美奈
- C4-4 災害時備蓄薬運用と課題について
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 薬剤部 吉増早希子
- C4-5 災害発生時の確実な実践を目指した看護管理者向け学習会
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 高橋 敏枝

11:55～12:45 ランチョンセミナーⅣ

座長 藤見 聡（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期総合医療センター 主任部長）

究極の初療室を目指して～ハイブリッド ER の広がり Abierto Cockpit for ER の開発～

丸山 修平（関西医科大学総合医療センター 救急医学科 助教）

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

12:55～13:30 一般演題 C5

座長 阿部 智子（地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 看護局長）

多職種連携（1）

- C5-1 多職種で行う入院受け業務の改善
社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 田之上瑞季
- C5-2 急性期病院における介護福祉士の活動～互いの専門性を発揮するための看護と介護の協同～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 千本 充徳
- C5-3 CPT チーム運営と子ども虐待フローチャートの改編
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 水上 知治
- C5-4 摂食嚥下チーム活動に対する取り組みについて
独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 看護部 木下 莉奈
- C5-5 摂食嚥下支援チームの取り組み－「食べる時の注意点」を用いた多職種連携－
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター リハビリテーション部門 高田 晃宏

13:30～14:12 一般演題 C6

座長 崎田佐百合（社会医療法人 生長会 阪南市民病院 看護部・科長）

多職種連携（2）

- C6-1 ハイブリッド ER 運用による多職種連携の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター / 大阪府泉州救命救急センター
診療支援局 放射線部門 近藤 幹大
- C6-2 身体拘束ゼロへのチャレンジ（ユマニチュードと多職種連携による取り組み）
社会医療法人 三宝会 平野東図書館前病院 リハビリテーション科 水野 善治
- C6-3 多職種カンファレンスを通して、患者の「わかっているけど、できない」背景を理解した指導の在り方
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 尾野 望来
- C6-4 救命 ICU に入室した本人の意思不明の治療 / 回復に難渋する患者の家族の意思決定を支える
多職種カンファレンスでの CNS の役割
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 急性期ケア推進室 佐野加緒里
- C6-5 多職種連携により強心薬を離脱して自宅退院が可能となった若年難治性重症心不全の一例
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター / りんくうタウン薬局 藪内 新平
- C6-6 COVID-19 第 4 次症例において抜管後異なる転帰を辿った患者 2 名の離床に関する看護実践と課題
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 金光 彩花

14:30～14:51 一般演題 C7

座長 種村 匡弘（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 副病院長 消化器外科主任部長）

タスク・シフト/シェア（3）

- C7-1 遠隔モニタリングシステムを用いた植込み型ループ心電計（ILR）の患者管理
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門 中谷 暁洋
- C7-2 当院におけるロボット支援下手術の導入に関わる臨床工学技士業務の確立
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門 水山 智文
- C7-3 当院の臨床工学技士による睡眠時無呼吸症候群療法におけるタスクシフトシェアについて
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門 島村 和希

15:30～16:12 一般演題 C8

座長 山村 達雄（社会医療法人 生長会 理事長補佐）

医療経済（2）

- C8-1 院内節電対策チームの設置と節電効果の検証
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 総務課 大西 鉄也
- C8-2 外国人患者の未収金を発生させないための取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 国際診療科 前田佐和子
- C8-3 医事科による歯科外来事務業務の効率化に向けた取り組み
社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 田中あずさ
- C8-4 コスト0での夜勤明け時間外労働削減の取り組み
大阪医科薬科大学病院 看護部 中山サツキ
- C8-5 コロナ禍によって顕在化した病床運営の課題と対策～病床運営ワーキンググループの活動報告～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 地域医療連携室 秋吉 隆彦
- C8-6 イキイキと仕事に打ち込める『安心安全な生産性の高い職場』を目指して
－職場の心理的安全性尺度日本語版を用いた職場評価－
社会医療法人 有隣会 東大阪病院 リハビリテーション部 椎木 洋子

16:12～16:54 一般演題 C9

座長 松下 庄一（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 事務局長）

医療経済（3）

C9-1 保育所看護師定着に向けたナースセンターの取り組み

公益社団法人 大阪府看護協会 ナースセンター事業所 有田かおり

C9-2 血液製剤の廃棄率削減への取り組み

社会医療法人 生長会 阪南市民病院 臨床検査室 寺西 広樹

C9-3 債務管理業務の効率化に向けた取り組み

社会医療法人 生長会 府中病院 管理課 石井 英行

C9-4 医事と SPD での診療材料データ突合について

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 星野 正裕

C9-5 電子処方箋の導入とその課題

八尾市立病院 事務局 小枝 伸行

C9-6 オンライン資格確認システムを用いた限度額区分の確認について

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 近藤 晨吾

第5会場（3階銀杏）

9：00～10：30 若手優秀演題（YIA）

座長 上田 祐二（西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 院長）

烏野 隆博（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 副病院長・血液内科主任部長）

若手優秀演題

- YIA-1 臨床工学技士による超音波診断装置を用いた血液浄化業務におけるタスク・シフト/シェアについて
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門 臨床工学科 川崎 勇司
- YIA-2 情報共有で機器管理をスムーズに
社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 診療技術部 臨床工学室 井上 舞
- YIA-3 当施設における診療放射線技師によるタスク・シフト/シェアに対する取り組み
社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 放射線室 奥中 雄策
- YIA-4 回復期リハビリテーション病棟退院時からみた転倒リスク因子の検討
社会医療法人 生長会 ベルピアノ病院 山口 春佳
- YIA-5 早期離職を防止し安全にリハビリテーション医療を提供するための職員教育
ーCOVID-19 流行下3年間における新入職員教育からの知見ー
社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部 教育研修科 貞末 仁美
- YIA-6 退院前訪問指導における報告書作成の効率化～デジタルツールの活用による作業時間短縮～
社会医療法人 生長会 府中病院 作業療法室 清水 利恵
- YIA-7 動画を用いた入院前術前オリエンテーション
国家公務員共済組合連合会 大手前病院 看護部 山田みらい
- YIA-8 救命救急センターにおける薬剤師主導のバンコマイシン投与管理プロトコルの作成と評価
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 釜野健太郎
- YIA-9 薬剤管理指導件数をあげる！～もっと患者さんに関わりたい～
公益財団法人 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 薬局 長井 尚子
- YIA-10 訪問看護ステーションにおける事務職員の役割の見直し～業務標準化による意識改革～
医療法人 光愛会 訪問看護ステーション アユースグループ 総務 塚原 友美

10:40～11:08 一般演題 D1

座長 中前 光弘（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局放射線部門 診療支援局次長 兼 放射線部門長 兼 危機管理室参事）

医療情報（1）

- D1-1 電子カルテ Data の活用、診療情報管理室が出来ること
～ QI（Quality indicator）身体拘束データ抽出の経験から～
公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 診療情報管理室 宮本 浩樹
- D1-2 当院の CAR-T 細胞療法におけるシステム構築について
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局 検査・栄養部門 宮本 志保
- D1-3 救命救急センターにおける多様な症例登録に対応する一元化データベース構築と省力化の試み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 延野 夏季
- D1-4 看護局記録委員会主導による入院診療計画書の充実
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 井畑 美穂

11:08～11:43 一般演題 D2

座長 有働みどり（社会医療法人 警和会 大阪警察病院 看護部管理課）

タスク・シフト/シェア（1）

- D2-1 心臓 CT でのコアペータ投与のタスク・シフトに向けた看護師に対する教育
～患者の安全と適時性を担保した診療補助行為を目指して～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 救急外来 吉田 恵子
- D2-2 特定行為看護師の業務平坦化への取り組み
社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院 看護部 岩武 恵子
- D2-3 「特定行為研修修了者の活動実態調査」報告
公益社団法人 大阪府看護協会 教育部 西林 百合
- D2-4 ガイドラインに沿った看護補助者の業務基準、指示書などの書式案作成に関する報告
公益社団法人 大阪府看護協会 労働環境支援事業部 辻 道代
- D2-5 組織的な医師事務作業補助業務の確立を目指した医師直轄のドクターサポートセンターの設立
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ドクターサポートセンター 増田 大作

11:55～12:45 ランチョンセミナー V

座長 道明 雅代（一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長）

中規模病院における COVID-19 対応（医療関連感染対策）の実践
～限られた人員でいかに新興感染症パンデミックに立ち向かったか～

勝田 誠（日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院 ICT・AST/ 薬剤科）
共催：塩野義製薬株式会社

12:55～13:30 一般演題 D3

座長 中筋 知美（地方独立行政法人 市立吹田市民病院 副院長 看護局長事務取扱）

タスク・シフト/シェア（2）

- D3-1 ドクターサポートセンターの主体的介入による診断書作成依頼内容の明瞭化とトラブルシューティング
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 延野 夏季
- D3-2 医師事務作業補助者の業務内容の合理化と時間外労働の撲滅
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ドクターサポートセンター 増田 大作
- D3-3 医師事務作業補助業務のマニュアル作成と複数科対応可能の達成
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ドクターサポートセンター 三浦 薫
- D3-4 COVID-19 禍における突然のマンパワー減少に対する医師事務作業補助者の迅速対応
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ドクターサポートセンター 三浦 薫
- D3-5 急性期病院における介護福祉士の戦略的活用
～専門性を活かしたタスク・シフト/シェアに向けた取り組み～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 看護管理室 川島 孝太

13:30～14:12 一般演題 D4

座長 平松 昌典（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 事務局次長）

医療情報（2）

- D4-1 当院における疑義照会・プレアボイド報告の運用変更による効果について
市立ひらかた病院 薬剤部 粕淵 一顕
- D4-2 ファントムを用いた内部精度管理の有用性
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局 検査・栄養部門 味岡 美貴
- D4-3 スギ・ヒノキ花粉飛散数計測情報提供についての取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 検査・栄養部門 宮下 亜子
- D4-4 カテーテル室における、申し送り内容の標準化への取り組みに向けて
社会医療法人 警和会 大阪警察病院 看護部・救急科 IVR センター 塚元 沙織
- D4-5 当院における輸液シリンジポンプ中央管理の変遷
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床技術部門臨床工学 中西 潤
- D4-6 RPA による医薬品集作成の自動化について
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤部門 中川 貴弘

14:30～15:20 スイーツセミナーⅡ

座長 大西 俊成（地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 循環器内科）

日本人における魚の摂取量と動脈硬化の関係 ～医療関係者こそ魚を食べよう！

増田 大作（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 循環器内科）

共催：持田製薬株式会社

15:30～16:12 一般演題 D5

座長 澤田 恵美（地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 看護局長）

患者サービス（1）

- D5-1 医療介護の質における課題改善に向けた取り組み
公益財団法人 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院 医療の質管理室 三島 信之
- D5-2 眼科手術における患者さんの問い合わせ削減を目指して
社会医療法人 生長会 府中病院 アイセンター 上田 楓
- D5-3 ベッドサイドを起点とした新看護方式導入後の成果と課題
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 7階山側病棟 山原 匡雄
- D5-4 パニック障害の長女への母親としての思いを抱えながら、化学療法の副作用に向かおうとする患者の看護実践
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 看護局 6階海側病棟 芝野みか子
- D5-5 造血幹細胞移植患者に対するチーム医療の取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 辻 香奈子
- D5-6 SARS-Cov2・インフルエンザウイルスの同時測定キットによる患者および医療従事者の負担軽減
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 診療支援局検査栄養部門 平松 柚有

16:12～16:54 一般演題 D6

座長 松永 真実（社会医療法人 生長会 府中病院 看護部長）

患者サービス（2）

- D6-1 新理念「our Purpose」への取り組み～地域住民向けのオープンキャンパスを実施して～
独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 看護部 中村 明美
- D6-2 看護補助者とのタスク・シフト/シェアによる患者の失くし物、忘れ物減少を目指した取り組み
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 6階海側病棟 森田 允
- D6-3 医療通訳者兼コーディネーターによる中国人患者の対応について
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 医療マネジメント課 国際診療科 林 紹成
- D6-4 会計待ち時間短縮への取り組み
社会医療法人 生長会 阪南市民病院 医事課 サリバン真悠
- D6-5 採尿検査提出までの待ち時間削減に向けた取り組み～看護補助者への検体受付のタスクシフト～
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 6階山側病棟 藤森 文乃
- D6-6 当院における妊産婦祝い膳リニューアルの取り組みについて
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 検査・栄養部門 廣瀬 芽衣